

地震後の電気火災を予防できる 感震ブレーカーを設置しましょう！

ご存知ですか？地震などの災害により発生する火災の過半数は電気が原因です。



東日本大震災では、本震による火災のうち、半数以上が電気関係による出火でした。地震による電気火災は、揺れや停電復旧時の通電が原因で発生します。

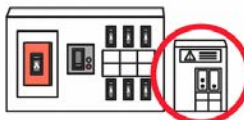
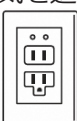
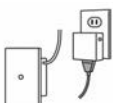
東日本大震災における火災の発生原因



参考) 日本火災学会誌
「東日本大震災火災等調査報告書」より

電気火災対策には、感震ブレーカーの設置が効果的！！

「感震ブレーカー」とは、地震の揺れを感知すると、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。消防では、家全体の電気を遮断できる分電盤タイプ（内蔵型・後付型）の設置を推奨しています。

分電盤タイプ(内蔵型)	推奨	分電盤タイプ(後付型)
 分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切り電気を遮断します。 ※電気工事が必要		 分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切り電気を遮断します。 ※電気工事が必要
コンセントタイプ		簡易タイプ
コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、電気を遮断します。 ※電気工事が必要  (埋込型) 壁面等に取り付けて使用する。  (タップ型) 既存のコンセントに差し込んで使用する。		 バネの作動や重りの落下などによりブレーカーを切り電気を遮断します。 ※電気工事が不要 おもり玉式 バネ式

災害に備えて日頃から準備できていますか？

常日頃から、沼田町防災のしおりを参考にして必要な物をまとめ、手に届く場所に保管しましょう。

・非常持出品

貴重品・携帯ラジオ・照明器具・衣類・非常用食品・道具類・救急衛生用品等

・備蓄品

燃料・洗面具・暖房器具・食料品・水（1人当たり3L目安）等

※数日間を自活するためのもので最低でも3日分を用意しましょう。



沼田町
防火標語

火事・救急は119番へ！
『火の用心 「後で」と「今」で 変わる未来』

